

地域で活躍する方を紹介 シリーズ ③

たい焼きのキッチンカー、最近島で見かけることはありませんか？

走らせているのは、小松開作のカフェ「わたの花」の店長、山中静子さん。

起業家を養成して地域再生につなげようと柳井広域1市4町が支援している「島スクエアプラス」の講演会がきっかけで、地域資源を活かした商品開発に取り組みました。

講演会の質疑で、とある参加者から「周防大島の特産品って、みかん以外には何があるの？」という質問が投げかけられ、聴講していた山中さんも、改めて考えるようになったそうです。

その後、商品開発講座にも参加し、仲間とともに試行錯誤の末、「芋あんたい焼き」を生み出しました。

県の助成も受け、たい焼きが焼けるキッチンカーを入手。この春からは、島内外の様々なイベントにも出店されています。

長年、町内で医療や介護の仕事をされてき

🍡 たい焼きを渡す山中さん 🍡



た山中さんは、退職後カフェを運営しながらも、地域にできること、自分も楽しめることを考えてこられました。

「島生まれ、島育ちの私たちこそ、次の世代に伝えるべきものがあると思って、始めました」

江戸時代後期から島の人たちを支えたさつまいもと、島の発展に大きく寄与してきた柑橘を活かしたおいしいたい焼き。ぜひ、食べてみてください。

取材日記

今号は、周防大島中学校令和5年度の生徒会役員の皆さんを取材してきました。

年度当初に、『新たなことに挑戦する』と目標を立て、夏休みに久賀・東和・橘の3地区で清掃ボランティアを実施されました。

その活動を通じ、ボランティア活動の魅力を知り、地域の方とのつながりができたことが大きな成果だったそうです。

さらに、第27回ボランティア・スピリットアワードでコミュニティ賞を受賞されました。中学校統合の効果を感じました。

吉村 忍

「議会だよりのあのコーナーで、ぜひ取材してほしい方がいます。」と、お声掛けくださった方がいらっしゃいました。議会だよりを裏面まで目を通してくださっていたことに、まずはとてもうれしく思いました。

「退職ののち、たい焼き屋さんを始めた方」くらいの軽い気持ちで取材に臨んだのですが、想いとそれを具現化する実行力、サポートされた周りの方々。地域の資源、歴史、人材が注ぎ込まれた事例だなど、元気をいただきました。

白鳥 法子

発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003 (議会事務局)

編集／議会広報編集特別委員会
印刷／(有)日良居タイムス
表紙デザイン／新村則人
表紙写真／吉村 忍



周防大島町議会
ホームページ